

スーパーボランティア 喜楽&煌楽

ご主人はマジックで奥様はハーモニカ演奏。しかもその腕前はお二人ともプロ級で、月に二十日はボランティア活動の日々を送っているという菅野竹男さん利江さんご夫妻から話を伺いました。

●芸名の由来は

「喜楽(きらく)」とは喜びと楽しさを、妻の「煌楽(きらら)」とは明るさと楽しさを共々に分かち合いますよ、うという思いから名付けました。

●活動のきっかけは

市内にあるシルバード大学校北校に夫婦で同期入学し、同校のスロー



ガンの一つである「社会貢献の一翼を」という志に共感し、卒業後に活動を始めました。●どのような施設で活動をしていますか

県内外、特に県北を拠点とし、介護施設、病院、いきいきサロン、日本語教室学校、保育園、児童保育施設など

●活動から得たものは

毎月約二十力所の施設で、四百名を超える皆さんとお会いする中で、諸先輩の方たちから「生き方の集大成」を学ばせて頂いていくことに感謝してまいります。また「人と会う」「人と話す」ことで、心に充足感をもたらしてもらっています。振り返れば、自分磨きへの挑戦であり、他者に学ぶことの大切さを再認識できたという思い

です。



●今後の予定は

これから二人三脚で「ボランティア寿命」の挑戦に取り組んでいきます。

●記者の感想

ご夫婦の言葉の掛け合いはプロも勝負するくらい息がピッタリでした。これからも皆さんにたくさん元気を分けて欲しいですね。

(T・S) (M・W)

地域の活性化を目指して WASHINKAN オナー加藤弥生さん

東京在住の加藤弥生さんが、山田の古民家を改修し、民泊施設として一昨年オープンしました。昨年八月には、ブックカフェをオープンし、市内外から多くの方が訪れています。WASHINKANを訪れ、オナーの加藤さんにお話を伺いました。

ハンドドリップコーヒー、矢板産の大豆とオーガニックマトベースの薬膳カレー、矢板産のりんごを使ったアップルパイなどがあります。



市内外の仲間たち、地域おこし協力隊の皆さんにたくさん協力をしていたいただきました。オープン後は主にワークショップなどを開催し、地域の方たちの交流の場として利用してもらっています。

●WASHINKANと名付けた理由は

祖父の開いていた病院の名前が和信病院でした。そのことから父が和信という名前を付けたいと決めました。

●施設の特徴は

民泊では、自炊できるキッチンを備えているほか、五右衛門風呂にも入ることが出来ます。またペット連れの方でも宿泊することが可能です。

ブックカフェは毎週木・金・土の正午から、ラストオーダーは午後四時です。メニューはオリジナルブレンドの

●宿泊客の集客は

民泊サイトのオープン後、民泊サイトに載せたところ反響がありました。昨年のお盆時期の十日間には、約百五十人のお客様が訪れてくれました。その中には海外からのお客様もいらっしゃいました。

●ブックカフェにした理由は

大学教授をしていた父が集めた研究書を中心に、一般書なども取りそろえてカフェに置くことにしました。

●問い合わせ WASHINKAN 住所：山田一〇八〇 電話：(四七) 七三二四

